

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	ページ数
プロジェクト推進室			
プロ推 20 No.1	プロジェクト推進室（水田農業）試験成績書	21.03	80
プロ推 20 No.2	水稲ロングマット水耕育苗苗・移植マニュアル（岩手	21.03	27
プロ推 20 No.3	プロジェクト推進室（特裁・有機）試験成績書	21.03	50
岩手県（プロジェクト推進室 農産園芸課 等） 岩手県水田農業改革推進協議会 岩手県大豆作共励会運営事務局	大豆の小畦立て播種栽培技術マニュアル	20.05	46
岩手県（プロジェクト推進室 農業改良普及センター 農産園芸課 等）	岩手県水稲直播栽培指針	21.03	51
企画管理部			
経営 20 No.1	集落営農組織の現状と展開方向	20.04	203
経営 20 No.2	きゅうり経営分析シート	20.04	25
経営 20 No.3	本県産ほうれんそうの競争ポジショニングと振興方向	20.05	31
経営 20 No.4	園芸農家経営分析シート利用マニュアル	20.05	25
経営 20 No.5	集落営農組織における経営管理の展開方向	20.12	39
経営 20 No.6	平成20年度試験研究成績書（農業経営チーム分）	21.03	138
技術部			
技術 20 No.1	水稲新配布系統成績書（作物研究室）	20.05	23
園畑 19 No.1	平成19年度 果樹試験成績書（果樹研究室）	20.08	176
園畑 19 No.4	平成19年度 花き試験成績書（花き研究室）	21.03	52
園芸 19 No.5	平成19年度 試験成績書（南部園芸研究室）	21.03	66
環境部			
環境 20 No.1	平成19年度 試験研究成績書（環境保全研究室）	21.03	104
環境 20 No.2	平成19年度 試験研究成績書（土壌作物栄養研究室）	21.03	112
環境 20 No.3	平成19年度 試験研究成績書（保鮮流通技術研究室）	21.03	120
病虫害防除部			
	平成19年度 植物事業年報	20.05	169
畜産研究所			
畜産 20 No.1	平成20年度試験成績書（畜産研究所）	21.03	90
県北農業研究所			
県北 20 No.3	平成19年度 やませ利用研究室試験研究成績書	21.03	120

2 研究レポート（平成20年度発行分）

No	タイトル	担当研究室
413	水稲湛水直播栽培の出穂期予測と収穫適期中の拡大	プロジェクト推進室(水田農業)
414	ホールクroppサイレーヅ用稲栽培でノビエが混入した際の刈取時期がわかります！	技術部 作物研究室
415	新形質米新品種「岩手紫76号」「岩手酒79号」「岩手80号」「岩手香84号」「岩手巨胚87号」	技術部 作物研究室
416	防除体系等の変化に伴うもち病防除剤の水系負荷変動	環境部 生産環境研究室
417	倒伏に強く褐斑粒の発生が少ない納豆用大豆「すずほのか」	技術部 作物研究室
418	最大で30%の増収！所得向上に貢献できる大豆小畦立て播種栽培	技術部 作物研究室
419	大豆生育期の広葉雑草に対する除草剤利用のポイント	技術部 作物研究室
420	白いんげんの安定栽培法	技術部 作物研究室
421	養成年数に応じた促成アスパラガスの最適堀取り時期	技術部 園芸研究室
422	小麦赤かび病の防除適期	環境部 病理昆虫研究室
423	早期培土を基本とした機械除草体系はキビにも適用できる	県北農業研究所 作物研究室
424	生物農薬を用いたアワノメイガ防除	県北農業研究所 作物研究室
425	発酵鶏ふんを利用して畑雑穀の無化学肥料栽培ができます	県北農業研究所 作物研究室
426	りんご 9月下旬に成熟する着色良好な赤色品種「岩手7号」	技術部 園芸研究室
427	りんご「シナノゴールド」の収穫適期判断	技術部 園芸研究室
428	JM7台利用りんご樹の衰弱症状における樹勢回復法	技術部 園芸研究室
429	授粉専用品種の「ふじ」への高接ぎによる結実向上効果	技術部 園芸研究室
430	イチゴ「北の輝」秋春二期どり作型で採苗効率を向上させる2回採苗法	技術部 園芸研究室
431	着果調整による雨よけトマトの秋期増収効果と盛夏期収穫作業の軽減	技術部 南部園芸研究室
432	夜冷短日育苗によるいちご促成前進作型の年内収量向上技術	技術部 南部園芸研究室
433	ピーマン・トマトの化学肥料チッソを削減する施肥法	環境部 生産環境研究室
434	畑わさびにおけるナトビハムシの生態と薬剤防除	環境部 病理昆虫研究室
435	ビニール被覆処理によるほうれんそうのケナガコナダニ類の被害軽減	県北農業研究所 園芸研究室
436	レタス腐敗性病害の耕種的防除法	県北農業研究所 園芸研究室
437	グラウンドカバープランツとしてのイブキジャコウソウによる農地法面の植生管理	企画管理部 農業経営研究室
438	露地栽培で新盆出荷が可能なりんどう「極々早生6」	技術部 園芸研究室
439	ビブルナムオプラス「スノーボール」の切り枝促成技術	技術部 園芸研究室
440	固化培地育苗または直まきによるスターチスの高品質・多収生産技術	技術部 南部園芸研究室
441	乳頭数不足主要原因遺伝子のDNAマーカー診断の精度とその産肉能力への影響について	畜産研究所 家畜育種研究室
442	黄熟後期・破砕トウモロコシサイレーヅの泌乳牛への多給技術	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
443	そばくずとオカラを混合したサイレーヅは豚の肥育飼料として有効	畜産研究所 家畜育種研究室
444	南部かしわ(K系)の配合飼料給与時の発育モデル	畜産研究所 家畜育種研究室
445	南部かしわ(K系)に対するソバくず+オカラサイレーヅの給与法	畜産研究所 家畜育種研究室
446	「三陸地鶏」の発育及び産肉成績	畜産研究所 家畜育種研究室
447	過剰排卵処理方法の改善による正常胚数とAランク胚数の向上	畜産研究所 種山畜産研究室
448	飼料用トウモロコシ不耕起栽培の収量性	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
449	自給飼料主体発酵TMRの季節別の開封利用時期	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
450	里地里山の生き物データベースシステム(公開版)	プロジェクト推進室(特裁・有機)
451	里地・里山の生き物紹介	プロジェクト推進室(特裁・有機)
452	示差屈折計を用いた寒締めほうれんそうの糖度測定	環境部 生産環境研究室
453	平成20年度に指定した飼料用トウモロコシ優良品種	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
454	集落営農組織の経営多角化・高度化に向けた解説書「集落営農組織の現状と展開方向」	企画管理部 農業経営研究室
455	イブキジャコウソウ栽培マニュアル	企画管理部 農業経営研究室
456	品種 食味に優れ、草丈が低く栽培しやすい半もち・短稈の早・中・晩生ヒエ「ヒエ岩手1～3号」	県北農業研究所 作物研究室

3 岩手県農業研究センター研究報告

第9号（平成21年3月発行）

※下線は筆頭著者

区分	表題名	著者氏名	所属
報文	非アロフェン質黒ボク土における有機物連用効果	<u>葉上 恒寿</u>	旧土壌作物栄養研究室 (現生産環境研究室)
		高橋 良学	旧土壌作物栄養研究室 (現農林水産省)
		佐藤 喬	旧土壌作物栄養研究室 (現中央農業改良普及センター)
		中野 亜弓	旧土壌作物栄養研究室 (現生産環境研究室)
		佐藤 千秋	旧土壌作物栄養研究室 (現大船渡農業改良普及センター)
		小田島 ルミ子	旧土壌作物栄養研究室 (現一関農業改良普及センター)
		新毛 晴夫	旧土壌作物栄養研究室 (現社団法人 岩手県農業公社)
		小野 剛志	旧土壌作物栄養研究室 (現岩手県立農業大学校)
		多田 勝郎	旧土壌作物栄養研究室 (現プロジェクト推進室)
要報	水稻湛水直播栽培の播種期の違いによる収量・品質関連形質の特徴	<u>且影 勝幸</u>	旧水田作研究室 (現プロジェクト推進室)
		小田中 温美	旧水田作研究室 (現岩手県立農業大学校)
	南部かしわ（K系）におけるオカラ+ソバクズサイレージの肥育飼料としての給与法	<u>佐藤 直人</u>	家畜育種研究室
		吉田 登	家畜育種研究室 (現岩手県農林水産部畜産課)
		吉田 力	家畜育種研究室
	ソバクズとオカラを混合したサイレージ給与が肥育豚の発育、肉質等に及ぼす影響	<u>佐々木 直</u>	家畜育種研究室
		吉田 力	家畜育種研究室
	北上市在来サトイモ‘二子いも’組織培養苗に関する研究 第I報 地上部生育の経時的推移	<u>阿部 弘</u>	旧応用生物工学研究室 (現研究企画室)
阿部 潤		旧応用生物工学研究室 (現岩手県南広域振興局花巻総合支局)	

区分	表 題 名	著者氏名	所 属
	北上市在来サトイモ‘二子いも’組織培養苗に関する研究 第Ⅱ報 培土方法が生育および収量に与える影響	阿部 弘 阿部 潤	旧応用生物学研究室 (現研究企画室) 旧応用生物学研究室 (現岩手県南広域振興局花巻総合支局)
	北上市在来サトイモ‘二子いも’組織培養苗に関する研究 第Ⅲ報 培養苗を用いた深植え用苗の試作とその栽培特性評価	阿部 弘 阿部 潤	旧応用生物学研究室 (現研究企画室) 旧応用生物学研究室 (現岩手県南広域振興局花巻総合支局)
資料	北上市在来サトイモ‘二子いも’のルーツに関する仮説	阿部 弘	旧応用生物学研究室 (現研究企画室)

4 学会等研究報告

※学会・研究会等の名称は、二本下線で示し、50音順に掲載した。

※平成20年4月に大幅な組織改編があったため、研究室名はその前後を併記した。

※当該研究室(部・研究所)の研究者は、一本下線で示した。

※他機関の共同研究者は、アスタリスク(*)で所属を示した。

(1) 学会論文(専門家の査読を受け、採択された論文)

北日本病害虫研究会(北日本病害虫研究会報. 59: 2008.12 発行)

応用生物工学研究室(農産部) (廃止)

○千葉 賢一・小野田 和夫・阿部 潤・岩館 康哉・竹澤 利和(2008). 接ぎ木によるリンドウ「こぶ症」の伝染性の確認.

北日本病虫研報. 59: 74-76.

果樹研究室(園芸畑作部) 園芸研究室(技術部)

○小野 浩司・田村 博明・鈴木 敏男・猫塚 修一(2008). スピードスプレーヤ(SS)防除における散布条件が病害虫防除効果に及ぼす影響.

北日本病虫研報. 59: 210-216.

花き研究室(園芸畑作部) 園芸研究室(技術部)

前出○千葉 賢一・小野田 和夫・阿部 潤・岩館 康哉・竹澤 利和(2008). 接ぎ木によるリンドウ「こぶ症」の伝染性の確認.

北日本病虫研報. 59: 74-76.

病理昆虫研究室(病害虫部) 病理昆虫研究室(環境部)

○飯村 茂之・岩館 康哉(2008). 岩手県におけるチオファネートメチル剤耐性ダイズ紫斑病菌の発生状況.

北日本病虫研報. 59: 30-32.

○猫塚 修一・岩館 康哉(2008). リンゴすず斑病菌の果実感染量を低減させる殺菌剤の選抜と効果的な散布時期の検討.

北日本病虫研報. 59: 103-108.

○横田 啓・鈴木 敏男(2008). 水田畦畔におけるアカスジカスミカメ越冬世代幼虫の密度低減に効果的な草刈時期.

北日本病虫研報. 59: 116-119.

前出○小野 浩司・田村 博明・鈴木 敏男・猫塚 修一(2008). スピードスプレーヤ(SS)防除における散布条件が病害虫防除効果に及ぼす影響.

北日本病虫研報. 59: 210-216.

前出○千葉 賢一・小野田 和夫・阿部 潤・岩館 康哉・竹澤 利和(2008). 接ぎ木によるリンドウ「こぶ症」の伝染性の確認.

北日本病虫研報. 59: 74-76.

病害虫防除課(病害虫部) 病害虫防除課(病害虫防除部)

前出○飯村 茂之・岩館 康哉(2008). 岩手県におけるチオファネートメチル剤耐性ダイズ紫斑病菌の発生状況.

北日本病虫研報. 59: 30-32.

雑穀研究会(雑穀研究. 24: 2009.3 発行)

作物研究室(東北農業研究所)

○仲條 真介・長谷川 聡^{*1}・吉田 宏・漆原 昌二・阿部 陽・阿部 知子^{*2}・福西 暢尚^{*2}・龍頭 啓充^{*2,3}・大清水 保見. 低アミロース短稈ヒエ新品種「ヒエ岩手1号」、「ヒエ岩手2号」、「ヒエ岩手3号」の育成.

雑穀研究. 24: 1-8.

*1 県中央農改普セ *2 理研仁科センター *3 京大 光・電子理工学教育研究センター

作物研究室(技術部)

前出○仲條 真介・長谷川 聡^{*1}・吉田 宏・漆原 昌二・阿部 陽・阿部 知子^{*2}・福西 暢尚^{*2}・龍頭 啓充^{*2,3}・大清水 保見. 低アミロース短稈ヒエ新品種「ヒエ岩手1号」、「ヒエ岩手2号」、「ヒエ岩手3号」の育成.

雑穀研究. 24: 1-8.

*1 県中央農改普セ *2 理研仁科センター *3 京大 光・電子理工学教育研究センター

園芸研究室(技術部)

前出○仲條 真介・長谷川 聡^{*1}・吉田 宏・漆原 昌二・阿部 陽・阿部 知子^{*2}・福西 暢尚^{*2}・龍頭 啓充^{*2,3}・大清水 保見. 低アミロース短稈ヒエ新品種「ヒエ岩手1号」、「ヒエ岩手2号」、「ヒエ岩手3号」の育成.

雑穀研究. 24: 1-8.

*1 県中央農改普セ *2 理研仁科センター *3 京大 光・電子理工学教育研究センター

東北農業経済学会(東北農業経済研究. 26(1): 2008.9 発行)

農業経営研究室(企画経営情報部) 農業経営研究室(企画管理部)

○前山 薫(2008). 岩手県における集落営農の現状と課題—一品目横断的経営安定対策加入組織を対象として—.

東北農業経済研究. 26(1): 10-20.

日本獣医師会 (日本獣医師会雑誌. 61(9): 2008.9 発行)

家畜工学研究室 (畜産研究所) 家畜育種研究室 (畜産研究所)

- 細川 泰子・福成 和博・吉川 恵郷・佐藤 洋一・菊池 雄(2008). 過剰排卵処理を施した黒毛和種牛における採胎成績と給与飼料およびBUN/血糖値比の関係.
日本獣医師会雑誌. 61(9): 699-704.

農業機械学会東北支部 (農業機械学会東北支部報. 55: 2008.12 発行)

生産工学研究室 (農産部) 農業経営研究室 (企画管理部)

- 須藤 勇人(2008). 基盤整備事業計画地区における10a区画稲作労働時間積算シートの開発.
農業機械学会東北支部報. 55: 53-60
- 藤原 敏(2008). 固定タイン改良とスコープによるアワ栽培の除草適応性.
農業機械学会東北支部報. 55: 23-26

British Society for Plant Pathology (Plant Pathology 57(5): 2008.10 発行)

病理昆虫研究室 (病害虫部) 病理昆虫研究室 (環境部)

- 坂本 勝*・富田 麗子*・浜田 博幸*・岩館 康哉・宗村 郁子*・小林 括平*(2008). A primer-introduced restriction analysis-PCR-based method to analyse Pepper mild mottle virus populations in plants and field soil with respect to virus mutations that break L3 gene-mediated resistance of Capsicum plants.
Plant Pathology 57(5): 825-833.
- * 岩手生工研セ

World Congress of the International Association of Agricultural Information Specialists, Conference of the Asian Federation of Information Technology in Agriculture, World Congress on Computers in Agriculture

農業経営研究室 (企画経営情報部) 農業経営研究室 (企画管理部)

- Kaoru Maeyama et.al.(2008). Development and User Evaluations of Farm Planning Support System FAPS-DB Using Agro-technology Systems Database. (2008.8 発行)
Agricultural Information and IT Proceedings of IAALD AFITA WCCA 2008: 1107-1113.

(2) 口頭発表・発表要旨

園芸学会 (平成20年度秋季大会: 2008.9.27~28 開催・三重大学 園芸学研究. 7(別2): 2008.9 発行)

野菜畑作研究室 (園芸畑作部) 園芸研究室 (技術部)

- 山口 貴之・及川 一也(2008). 品種の違いがアスパラガス伏せ込み栽培の萌芽に与える影響
園学研. 7(別2): 205.

園芸学会 (平成21年度春季大会: 2009.3.19~20 開催・明治大学 園芸学研究. 8(別1): 2009.3 発行)

(口頭発表)

園芸研究室 (技術部)

- 山口 貴之(2009). キュウリホモプシス根腐病による被害を抑える整枝法の開発.
園学研. 8(別1): 163.

(ポスター発表)

南部園芸研究室 (技術部)

- 藤尾 拓也・佐藤 弘・青木 和彦^{*1}(2009). トマトの根域冷却による処理時間帯の違いが果実糖度に及ぼす影響.
園学研. 8(別1): 396
- *1 農研機構東北農研
- 佐藤 弘・藤尾 拓也(2009). 春夏期の短日処理がイチゴ‘さがほのか’のえき花房発生に及ぼす影響.
園学研. 8(別1): 375

園芸学会東北支部 (平成20年度研究発表会: 2008.8.21 開催・盛岡市 園芸学会研究発表要旨. 平20 東北支部: 2008.8 発行)

果樹研究室 (園芸畑作部) 園芸研究室 (技術部)

- 大野 浩・小野 浩司・田村 博明(2008). ぶどう育成系統「岩手2号」および「岩手3号」の特性.
園学要旨. 平20 東北: 45-46.

南部園芸研究室 (園芸畑作部) 南部園芸研究室 (技術部)

- 佐藤 弘・志田 たつ子(2008). パンジーにおける杉樹皮を用いた培地の利用技術.
園学要旨. 平20 東北: 63-64.

産地育成研究室 (県北農業研究所) 園芸研究室 (県北農業研究所)

- 田代 勇樹(2008). 圃場環境改善によるレタスすそ枯病, 軟腐病および腐敗病への影響.
園学要旨. 平20 東北: 37-38.

北日本病害虫研究会 (2009. 2. 17~18 開催・札幌市 北日本病害虫研究会報. 60: 印刷中)

(口頭発表)

病理昆虫研究室 (環境部)

- 横田 啓・寺田 道一*1・千葉 克彦*2・鈴木 敏男 (2009). アカスジカスミカメに対する一斉防除の有効性.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
*1 県農産園芸課 *2 県奥州農改普セ
- 佐々木 直子 (2009). 籾殻から水稻苗への孢子飛散による MBI-D 剤耐性いもち病菌の伝染経路の検討.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.

病害虫防除課 (病害虫防除部)

- 菅 広和・小川 真理子 (2009). 岩手県における斑点米カメムシ類および斑点米の発生量の関係と防除の方向性.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.

(ポスター発表)

園芸研究室 (技術部)

- 山口 貴之・岩館 康哉 (2009). ウリ科植物のキュウリホモプシス根腐病に対する台木特性.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.

病理昆虫研究室 (環境部)

- 鈴木 敏男・吉田 樹史 (2009). 地温を用いた有効温量からアワノメイガ越冬世代の羽化時期が予測できる.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 前出○山口 貴之・岩館 康哉 (2009). ウリ科植物のキュウリホモプシス根腐病に対する台木特性.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 阿部 信治・横田 啓 (2009). 大豆加害害虫ウコンノメイガの発生地域と防除要否の判断時期.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 羽田 厚・藤沢 巧・佐藤 由美子・藤田 章宏・熊谷 拓哉 (2009). 岩手県の近年のナミハダニ発生動向と薬剤抵抗性の発達.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 佐藤 美和子・羽田 厚 (2009). 岩手県におけるハモグリバエ類の新規発生について.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 阿部 亜希子・齊藤 智子*1・赤坂 安盛・熊谷 拓哉・猫塚 修一 (2009). 岩手県におけるネギ小菌核病の感染・発生時期について.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
*1 県八幡平農改普セ
- 岩館 康哉・吉田 樹史・庄司 新一郎*1・高橋 達治*1 (2009). クロルピクリン錠剤の減量施用によるハウレンソウ萎凋病防除法の検討.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
*1 南海化学(株)
- 猫塚 修一 (2009). リンゴすす班病に対する各種薬剤の果面保護効果の持続性.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 羽田 厚・藤沢 巧・佐藤 由美子・藤田 章宏・熊谷 拓哉 (2009). 岩手県の近年のナミハダニ発生状況と薬剤抵抗性の発達.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.

病害虫防除課 (病害虫防除部)

- 前出○羽田 厚・藤沢 巧・佐藤 由美子・藤田 章宏・熊谷 拓哉 (2009). 岩手県の近年のナミハダニ発生動向と薬剤抵抗性の発達.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 前出○佐藤 美和子・羽田 厚 (2009). 岩手県におけるハモグリバエ類の新規発生について.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 前出○阿部 亜希子・齊藤 智子*1・赤坂 安盛・熊谷 拓哉・猫塚 修一 (2009). 岩手県におけるネギ小菌核病の感染・発生時期について.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
*1 県八幡平農改普セ

作物研究室 (県北農業研究所)

- 前出○鈴木 敏男・吉田 樹史 (2009). 地温を用いた有効温量からアワノメイガ越冬世代の羽化時期が予測できる.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
- 前出○岩館 康哉・吉田 樹史・庄司 新一郎*1・高橋 達治*1 (2009). クロルピクリン錠剤の減量施用によるハウレンソウ萎凋病防除法の検討.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.
*1 南海化学(株)

園芸研究室 (県北農業研究所)

- 前出○羽田 厚・藤沢 巧・佐藤 由美子・藤田 章宏・熊谷 拓哉 (2009). 岩手県の近年のナミハダニ発生動向と薬剤抵抗性の発達.
北日本病虫研報. 60: 印刷中.

国際動物遺伝学会 (第31回大会: 2008. 7. 20~24 開催)

家畜工学研究室 (畜産研究所) 家畜育種研究室 (畜産研究所)

- TOSHIO WATANABE, YUICHI SATO etc(2008). QTL mapping of Japanese Black cattle using a family structure combining seven paternal half-sib families.
- TAKASHI HIRANO, YUICHI SATO etc(2008). Fine-mapping of ATPP in Japanese Black cattle and search for candidate genes with microarray.

自給飼料利用研究会・エコフィード全国シンポジウム (2008. 12. 8~9 開催・つくば市 講演要旨: 2008. 12 発行)

飼料生産研究室 (畜産研究所) 家畜飼養・飼料研究室 (畜産研究所)

- 平久保 友美 (2008). 発酵TMRの調整—発酵品質—
平成20年度自給飼料利用研究会・エコフィード全国シンポジウム講演要旨: 125-131.

家畜飼養研究室 (畜産研究所) 家畜飼養・飼料研究室 (畜産研究所)

- 越川 志津 (2008). 発酵TMRの調整—泌乳牛への給与—
平成20年度自給飼料利用研究会・エコフィード全国シンポジウム講演要旨: 132-134.

東北農業経済学会 (大会: 2008. 9. 6 開催・新潟市 大会報告要旨: 2008. 9 発行)

農業経営研究室 (企画経営情報部) 農業経営研究室 (企画管理部)

- 阿部 直行 (2008). りんご特別栽培導入産地の実態と課題~岩手県内の旧I農協を対象として~.
第44回東北農業経済学会大会報告要旨: 33.

日本育種学会 (第114回講演会—2008 秋季: 2008. 10. 11~12 開催・滋賀県立大学 育種学研究. 10(別2): 2008. 10 発行)

水稻育種研究室 (農産部) 作物研究室 (技術部)

- 藤部 貴宏*・阿部 陽・松村 英生*・寺内 良平* (2008). イネの低温発芽性に関する因子の探索.
育種学研究. 10(別2): 182.
* 岩手生工研セ

日本育種学会 (第115回講演会—2009 春季: 2009. 3. 27~28 開催・つくば国際会議場 育種学研究. 11(別1): 2009. 3 発行)

作物研究室 (技術部)

- 阿部 陽・高草木 雅人・松村 英生*1・木内 豊*2・寺内 良平*1 (2009). 日印交雑系統を用いたイネいもち病抵抗性に関するQTL解析.
育種学研究. 11(別1): 143.
*1 (財)岩手生工研セ *2 県農業振興課
- 松村 英生*・阿部 陽・吉田 健太郎*1・藤部 貴宏*1・木内 豊*2・寺内 良平*1 (2009). イネゲノム育種への次世代シーケンシング技術の活用.
育種学研究. 11(別1): 142.
*1 (財)岩手生工研セ *2 県農業振興課

作物研究室 (県北農業研究所)

- 仲條 眞介・吉田 宏・大清水 保見 (2009). 半矮性・低アミロースヒエ新品種の地域適応性.
育種学研究. 11(別1): 213

日本応用動物昆虫学会 (2009. 3. 28~30 開催・札幌市 講演要旨)

(口頭発表)

病理昆虫研究室 (環境部)

- 横田 啓・阿部 信治・望月 文昭*1 (2009). 岩手県におけるウコンノメイガの発生消長.
第53回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨: 78
*1 信越化学工業(株)
- 羽田 厚・鈴木 敏男 (2009). 寒冷地のキャベツ圃場における環境保全型農業と関連した生物多様性の指標生物の選抜.
第53回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨: 130

病害虫防除課 (病害虫防除部)

- 前出○横田 啓・阿部 信治・望月 文昭*1 (2009). 岩手県におけるウコンノメイガの発生消長.
第53回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨: 78
*1 信越化学工業(株)

日本オペレーションリサーチ学会 (「食料・農業・環境とOR」研究部会: 2008. 12. 5 開催・盛岡市 オペレーションズ・リサーチ: 印刷中)

農業経営研究室 (企画経営情報部) 農業経営研究室 (企画管理部)

- 前山 薫 (2008). 営農現場における経営・作業管理の現状と経営支援システムの開発方向.
オペレーションズ・リサーチ: 印刷中.

日本作物学会(第227回講演会—2009 春季:2009.3.27~28 開催・つくば市 日本作物学会紀事.)

作物研究室(県北農業研究所)

- 荻内 謙吾(2009). キビの登熟特性と脱粒性.
日作紀. 78(別1): 44-45.

日本作物学会東北支部(第51回講演会:2008.8.21 開催・弘前市 日本作物学会東北支部会報. 51:2008.12 発行)

野菜畑作研究室(園芸畑作部) 作物研究室(技術部)

- 小綿 寿志・小館 琢磨(2008). 剪葉処理がハトムギの生育・品質に及ぼす影響.
日作東北支部報. 51:59-60.

作物研究室(県北農業研究所)

- 仲條眞介・吉田宏・大清水保見(2008). アワ極早生変異系統の異なる日長条件における出穂反応
日作東北支部報. 51:57-58.

日本植物病理学会大会(2008.4.25~28 開催・松江市 日本植物病理学会報. 74(3):2008.8 発行)

病理昆虫研究室(病害虫部) 病理昆虫研究室(環境部)

- 岩館 康哉・永坂 厚*・山田 修・猫塚 修一(2008). マルチフィルムによる簡易な根域制限とクロルピクリンくん蒸剤の併用によるキュウリホモプシス根腐病の防除.
日植病報. 74(3):190.
* 東北農研セ
- 佐々木 直子・猫塚 修一(2008). MBI-D 耐性イネいもち病菌の種子伝染による発生拡大.
日植病報. 74(3):209.
- 猫塚 修一・藤沢 巧・鈴木 敏男(2008). トルコギキョウえそ斑紋病多発農家の育苗ハウスおよび定植圃場内に発生するミカンキイロアザミウマのインパチエンスネクロティックスポットウイルス(INSV)保毒状況.
日植病報. 74(3):215.

日本植物病理学会大会(2009.3.26~28 開催・山形市 日本植物病理学会報. 75:印刷中)

園芸研究室(環境部)

- 岩館 康哉・山口 貴之・山田 修*1・猫塚 修一(2009). キュウリホモプシス根腐病防除を対象としたクロルピクリンくん蒸剤のマルチ畦内処理効果の評価.
日植病報. 75:印刷中.

*1 県農産園芸課

病理昆虫研究室(環境部)

- 前出○岩館 康哉・山口 貴之・山田 修*1・猫塚 修一(2009). キュウリホモプシス根腐病防除を対象としたクロルピクリンくん蒸剤のマルチ畦内処理効果の評価.
日植病報. 75:印刷中.

*1 県農産園芸課

- 佐々木 直子・猫塚 修一(2009). MBI-D 耐性イネいもち病菌の種子保菌割合が葉いもちの初発生時期に及ぼす影響.
日植病報. 75:印刷中.

日本植物病理学会東北部会(2008.9.25~26 開催・盛岡市 日本植物病理学会報. 75(1):2009.2 発行)

応用生物工学研究室(農産部) (廃止)

- 岩館 康哉・臼井 紀子・猫塚 修一. LAMP 法によるホモプシス根腐病菌の検出.
日植病報. 75(1):61-62.

病理昆虫研究室(病害虫部) 病理昆虫研究室(環境部)

- 猫塚 修一・田中 和明*・佐野 輝男*. リンドウ褐斑病の第一次伝染源.
日植病報. 75(1):62-63.

* 弘前大農生

- 前出○岩館 康哉・臼井 紀子・猫塚 修一. LAMP 法によるホモプシス根腐病菌の検出.
日植病報. 75(1):61-62.

- 佐々木 直子・岩館 康哉・猫塚 修一. MBI-D 耐性いもち病菌感染苗の移植による葉いもち早期発生.
日植病報. 75(1):61.

日本草地学会(大会:2009.3.28~30・藤沢市)

家畜飼養・飼料研究室(畜産研究所)

- 平久保 友美・堀間 久己・尾張 利行・菊池 雄・魚住 順*1(2008). 飼料用トウモロコシ5年連続不耕起栽培における収量性.

平成20年度日本草地学会講演要旨:講演番号216.

*1 農研機構東北農研

日本畜産学会 (第110回大会: 2009. 3. 27~29 開催 講演要旨: 2009. 3 発行)

家畜育種研究室 (畜産研究所)

- 安田 潤平・魚住 順*1・吉田 力(2009). ライコムギサイレージとトウモロコシサイレージを主体とした日本短角種牛肉生産.
第110回日本畜産学会大会講演要旨: 23
*1 農研機構東北農研
- 佐々木 啓介*1・本山 三知代*1・安田 潤平・山本 禎*2・成田 卓美*1・大江 美香*1・今成 麻衣*3・藤村 忍*4 (2009).
牛筋肉3部位における食感表現とその加熱変化の違い.
第110回日本畜産学会大会講演要旨: 130
*1 畜草研 *2 神奈川畜技セ *3 農研機構東北農研 *4 新潟大農

日本動物遺伝育種学会 (第9回大会: 2008. 11. 29 開催)

家畜工学研究室 (畜産研究所) 家畜育種研究室 (畜産研究所)

- 渡辺 敏夫*・佐藤 洋一等(2008). 同一種雄牛を始祖とする複数半きょうだい家系のQTL解析.
日本動物遺伝育種学会第9回大会講演要旨: ??-?? or 印刷中.
* 畜産技術協会動物遺伝研究所等
- 平野 貴*・佐藤 洋一等(2008). マウスを用いた黒毛和種乳頭欠損症候補遺伝子の探索.
日本動物遺伝育種学会第9回大会講演要旨: ??-?? or 印刷中.
* 畜産技術協会動物遺伝研究所

日本土壌肥料学会 (2008年度愛知大会: 2008. 9. 9~11 開催・名古屋市立大学 日本土壌肥料学会. 54: 2008. 9 発行)

プロジェクト推進室

- 高橋良学*1・大友 英嗣・多田 勝郎・長谷川 辰雄*2・大和田 功*3(2008). フラットベッドスキャナを利用した簡易土壌診断システムの開発.
土肥要旨集. 54: 34.
*1 農林水産省(元岩手農研セ) *2 (地独)岩手工技セ *3 (有)イグノス

土壌作物栄養研究室 (生産環境部) 生産環境研究室 (環境部)

- 葉上 恒寿・高橋 好範・佐々木 洋一・多田 勝郎(2008). リンドウ株養成時の省力的な施肥法の開発.
第2報 肥効調節型肥料を用いた定植2年目(株養成期間)の生育.
土肥要旨集. 54: 148. (2008. 9発行)
- 高橋良学*1・大友 英嗣・多田 勝郎・長谷川 辰雄*2・大和田 功*3(2008). フラットベッドスキャナを利用した簡易土壌診断システムの開発.
土肥要旨集. 54: 34.
*1 農林水産省(元岩手農研セ) *2 (地独)岩手工技セ *3 (有)イグノス

日本農薬学会 (第34回大会: 2009. 3. 17~20 開催・東京大学農学部 講演要旨: 2009. 3 発行)

生産環境研究室 (環境部)

- 中野 亜弓・折坂 光臣(2009). 防除体系の変化に伴うもち病防除剤の河川負荷変動
日本農薬学会第34回大会講演要旨集:61

日本養豚学会 (第91回大会: 2009. 3. 18~19 開催 講演要旨: 2009. 3 発行)

- 佐々木 直・吉田 力(2009). 豚の肥育後期(70~110kg)における玄米添加給与が発育、産肉性に及ぼす影響
第91回日本養豚学会講演要旨: 26

農業機械学会東北支部 (研究発表会: 2008. 8. 19~20 開催・山形大学 講演要旨: 2008. 8 発行)

生産工学研究室 (農産部) 農業経営研究室 (企画管理部)

- 藤原 敏(2008). 固定タイン改良とスコープによるアワ栽培の除草適応性.
平成20年度農業機械学会東北支部大会研究発表会講演要旨: 36-37.
- 須藤 勇人(2008). 基盤整備事業計画地区における10a区画稲作労働時間積算シートの開発.
平成20年度農業機械学会東北支部大会研究発表会講演要旨: 38-39.

東日本家畜受精卵移植技術研究会 (第24回大会: 2009. 1. 28~29 開催 講演要旨)

家畜工学研究室 (畜産研究所) 家畜育種研究室 (畜産研究所)

- 細川 泰子・米澤 智恵美(2009). 黒毛和種供卵牛における過剰排卵処理後の卵巣反応の推定.
第24回東日本家畜受精卵移植技術研究会大会講演要旨: 44-45
- 福成 和博・細川 泰子・米澤智恵美・松川和嗣*・赤木賢史*(2009). 初期G1期同期化および血清飢餓培養後のウシ線維芽細胞を用いた核移植胚の移植成績.
第24回東日本家畜受精卵移植技術研究会大会講演要旨: 70-71
* 畜産草地研究所

農業経営研究室(企画経営情報部) 農業経営研究室(企画管理部)

- Kaoru Maeyama et.al.(2008). Development and User Evaluations of Farm Planning Support System FAPS-DB Using Agro-technology Systems Database.
World Conference on Agricultural Information and IT IAALD AFITA WCCA 2008 Program and Abstracts:
83-84.

(3)東北農業試験研究発表会(第51回 2008.7.16開催・仙台市)・東北農業研究(第61号.印刷中)

(新設)プロジェクト推進室(特裁・有機)

- 洞口 博昭(2008). 水稲種子の温湯浸漬処理後の長期保存の影響.

水稲育種研究室(農産部) 作物研究室(技術部)

- 阿部 陽・高草木 雅人・中野 央子・木内 豊(2008). 水稲巨大胚新品種「つづみ星」の育成.

- 高草木 雅人・阿部 陽・中野 央子・木内 豊(2008). 水稲紫黒米新品種「あけのむらさき」の育成.

果樹研究室(園芸畑作部) 園芸研究室(技術部)

- 畠山 隆幸(2008). りんご「シナノゴールド」の収穫適期判断.

- 高橋 司・田村 博明・佐々木 仁・浅川 知則(2008). リンゴ授粉専用品種のポット大苗移植後の生育と結実向上効果.

- 小野 浩司(2008). 画像解析を用いたリンゴわい化樹の薬剤到達性判断法.

南部園芸研究室(園芸畑作部) 南部園芸研究室(技術部)

- 藤尾 拓也・佐藤 弘(2008). 高糖度トマト栽培における冷却効果の高い栽培槽の選定.

- 藤尾 拓也・佐藤 弘(2008). 四季成り性イチゴにおける摘果と摘花房処理が収量に及ぼす影響.

土壌作物栄養研究室(生産環境部) 生産環境研究室(環境部)

- 鈴木 良則・葉上 恒寿・多田 勝郎・佐藤 千秋(2008). 有機配合肥料及び豚ふん堆肥を用いたピーマン、トマトの化学肥料削減技術.

保鮮流通技術研究室(生産環境部) 生産環境研究室(環境部)

- 宍戸 貴洋(2008). 流通中の岩手県産寒締めホウレンソウの糖含量と簡易推定法.

家畜育種研究室(畜産研究所)

- 佐藤 直人・吉田 力(2008). 南部かしわ(K系)における配合飼料給与時の発育モデル.

外山畜産研究室(畜産研究所)

- 谷藤 直子(2008). 黒毛和種去勢育成牛へのTMR給与におけるサイレージ利用.

産地育成研究室(県北農業研究所) 園芸研究室(県北農業研究所)

- 佐藤 正昭(2008). 促成伏せ込みアスパラガスの根株への低温遭遇条件と若茎収量.

営農技術研究室(県北農業研究所) 作物研究室(県北農業研究所)

- 吉田 樹史(2008). アワノメイガの被害を考慮したアワの適正播種量及び作期.

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

機械化農業

プロジェクト推進室（水田農業）

- 高橋 昭喜(2009). 「小畦立て栽培で水田大豆を増収する ～水田ハローを活かし湿害回避」
機械化農業. 2009. 3月号

月刊養豚界

家畜育種研究室(畜産研究所)

- 佐々木 直(2008). 系統豚「イワテハヤチネL2」.
月刊養豚界 2008. 12 : 8-9

今月の農業

病理昆虫研究室（病害虫部）

- 横田 啓(2008). 岩手県におけるアカスジカスミカメの発生状況と防除対策. 今月の農業 52(7) : 13-17
- 羽田 厚(2008). 岩手県のリンゴ園地におけるナミハダニ多発生要因について. 今月の農業 52(8) : 23-28

日本獣医師会雑誌

家畜育種研究室（畜産研究所）

- 細川 泰子(2008). 過剰排卵処理を施した黒毛和種牛における採胚成績と給与飼料およびBUN/血糖値比の関係. 日本獣医師会雑誌 第61巻 第9号 : 699-704

日本植物調節剤研究協会東北支部会報第44号（2009年3月）

プロジェクト推進室（水田農業）

- 日影 勝幸(2009). 「岩手県における水稻直播栽培雑草防除対策」

農耕と園芸

園芸研究室（技術部）

- 川村 浩美(2008). 7月上旬出荷可能な「極々早生6」の品種特性.
農耕と園芸 64(2) : 59-61

生産環境研究室（環境部）

- 大友 英嗣(2008). フラットベッドスキャナを利用した土壌中全炭素・全窒素含量簡易推定システムの開発.
農耕と園芸 62(8) : 52-54

農業技術体系

園芸研究室（技術部）

- 小野 浩司(2008). わい化栽培の技術. 「JM7 台木の特性と利用」の一部. JM7の衰弱症とその対策.
果樹編追録 23号 : 技 286 の 7 の 2-286 の 7 の 5

(2) 月刊農業普及（平成20年4月号～平成21年3月号）

4月号 ※原稿提出後の平成20年4月に組織改編があったため、旧所属と現所属を併記した。

旧生産工学研究室（旧農産部） → 農業経営研究室（企画管理部）

- 須藤 勇人「グラウンドカバープランツ「イブキジャコウソウ」の増殖方法と植生管理方法」

旧花き研究室（旧園芸畑作部） → 転出（県南広域振興局花巻総合支局）

- 阿部 潤. オリジナル品種開発研究の現状と今後 ～リンドウと小ギク～

旧野菜畑作研究室（旧園芸畑作部） → 園芸研究室（技術部）

- 山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫部） → 病害虫防除課（病害虫防除部）

- 熊谷 拓哉. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 防除暦や防除計画をチェックしましょう

5月号

プロジェクト推進室（水田農業）

- 高橋 昭喜. 試験研究レポート「最大で30%の増収！所得向上に貢献できる大豆の小畦立て播種栽培」

園芸研究室（技術部）

- 山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

- 阿部 亜希子, 齋藤 智子. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 野菜・花きのウイルス病対策

6月号

園芸研究室（技術部）

- 山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

○熊谷 拓哉. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 農薬のラベルを確認しましょう

7月号

園芸研究室（技術部）

○山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

○萱 宏和. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 水稻いもち病の発生予察と防除のポイント

8月号

園芸研究室（技術部）

○川村 浩美. 岩手の天候と土地を活かす枝物ビブナム「スノーボール」の促成栽培

○山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

○佐藤 由美子. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 りんごにおけるハダニ類の発生生態と防除対策

9月号

南部園芸研究室（技術部）

○高橋 豊. 固化培地育苗または直まきスターチスの切花品質が大幅にアップ

○山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

○佐藤 美和子. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 農薬の作物残留対策

10月号

園芸研究室（技術部）

○畠山 隆幸. りんご「シナノゴールド」の収穫適期判断

○山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

○阿部 信治. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 小麦の萎縮病の生態と防除のポイント

11月号

農業経営研究室（企画管理部）

○松浦 貞彦. 「営農計画作成や経営の意志決定を支援する「農業経営設計システム」の開発」

園芸研究室（技術部）

○山口 貴之. 季節の農作業 きゅうり

病害虫防除課（病害虫防除部）

○阿部 亜希子. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 ねぎの病害虫について

作物研究室（県北農業研究所）

○仲條 真介. 美味しくて栽培しやすいヒエ新品種が登場します

12月号

病害虫防除課（病害虫防除部）

○佐藤 美和子. シリーズ「病害虫と防除の最新情報」 農薬の中毒について

1月号

生産環境研究室（環境部）

○小菅 裕明. 特集「肥料高騰に対処するには」 肥料価格高騰に対応した肥料費低減技術

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○平久保 友美. 飼料用トウモロコシの不耕起栽培について

2月号

農業経営研究室（企画管理部）

○昆野 善孝. 「直播栽培技術導入の経営上のメリット」

園芸研究室（技術部）

○高橋 司. 季節の農作業 西洋なし

3月号

プロジェクト推進室（水田農業）

○高橋 昭喜. 特集 革新技術の導入に向けて「大豆に湿害軽減のための播種技術のポイント」

○伊藤 勝浩. 特集 革新技術の導入に向けて「岩手型新播種技術『作溝同時直播装置』を開発」

園芸研究室（技術部）

○高橋 拓也. イチゴ2回採苗法により秋どり用の苗を効率的に生産！

(3) 岩手の畜産（平成20年4月号～平成21年3月号）

5月号

外山畜産研究室（畜産研究所）

○小野寺 真貴子

7月号

家畜工学研究室（畜産研究所）

○福成 和博. 雄候補牛の肉質を見る！

8月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○越川 志津. 乾乳時乳量の差異による乳房炎新規感染への影響

11月号

種山畜産研究室（畜産研究所）

○渡辺 彩.

1月号

家畜育種研究室（畜産研究所）

○佐藤 洋一. 乳頭数不足原因遺伝子の DNA マーカー型検査について

3月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○尾張 利行. 乾物収量性に優れた飼料用トウモロコシ中手品種「ゴールドデントKD660」

(4) 岩手りんごタイムス（平成20年4月号～平成21年3月号）

4月号

園芸研究室（技術部）

○大野 浩. 凍霜害対策について

○小野 浩司. 摘花・摘果剤の利用について

5月号

病害虫防除課（病害虫防除部）

○藤田 章宏. 農薬の適正使用について

○佐藤 由美子. 幼果期の防除対策について

6月号

園芸研究室（技術部）

○大野 浩. 樹相診断について

病害虫防除課（病害虫防除部）

○佐藤 由美子. ダニ剤の使用について

7月号

園芸研究室（技術部）

○大野 浩. 夏期管理について

生産環境研究室（環境部）

○大友 英嗣. 園内の土壌管理について

○大友 英嗣. 欠乏症などによる樹体について

病理昆虫研究室（環境部）

○羽田 厚. 枝幹害虫の防除について

病害虫防除課（病害虫防除部）

○藤田 章宏. 盛夏期の防除対策

8月号

病害虫防除課（病害虫防除部）

○佐藤 由美子. 収穫期前の防除対策

9月号

園芸研究室（技術部）

○畠山 隆幸. 黄香の収穫予測と収穫前管理について

10月号

園芸研究室（技術部）

○畠山 隆幸. 岩手系統について（岩手7号）

11月号

園芸研究室（技術部）

○小野 浩司. 野そ対策について

12月号

園芸研究室（技術部）

○高橋 司. 改植の進め方について

病害虫防除課（病害虫防除部）

○佐藤 由美子. 今年の防除の反省

1月号

園芸研究室（技術部）

○高橋 司. せん定について

3月号

病害虫防除課（病害虫防除部）

○藤田 章宏. 今年の防除対策

(5) 酪農ジャーナル（平成20年4月号～平成21年3月号）

7月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○平久保 友美. ロコシの収量性について

8月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○越川 志津. 乾乳時乳量の差異による乳房炎新規感染への影響

1月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○平久保 友美. 細断型ロールペーラーで調製した自給飼料主体発酵TMRの貯蔵後短期間の発酵品質、生菌数の変化

(6) 開拓情報

5月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○茂呂 勇悦. 黄熟後期・破砕トウモロコシサイレージの泌乳牛への多給技術

6月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○越川 志津. 乾乳時乳量の差異による乳房炎新規感染への影響

7月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○平久保 友美. 飼料用トウモロコシ不耕起栽培の収量性について

12月号

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○平久保 友美. 細断型ロールペーラーを用いた発酵TMRの品質について

(7) その他の雑誌等

現代農業

プロジェクト推進室（水田農業）

○及川 一也. 代かきローターの爪の向きを変えるだけ 浅耕同時小ウネ立て播種. 2008.7月号

米麦改良

作物研究室

○高草木 雅人. 水稻新品種「どんびしゃり」の育成. 2009.3月号

グリーンレポート

生産環境研究室（環境部）

○宍戸 貴洋. 雨よけほうれんそうの「とろけ」は、なぜ発生するのか. 第476号(21.2)

牧草と園芸

家畜飼養・飼料研究室（畜産研究所）

○平久保 友美. 岩手県におけるソルガム栽培について. 2008.4月号

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し (内容)	掲載紙名	掲載年月日
プロジェクト推進室			
	大豆の湿害克服 チゼルつめ、小畝立て栽培排水アップ 営農組合「ニューアグリ土谷」	日本農業新聞	20.04.12
	たん直みっちり いわたの研究会 機械操作学ぶ	日本農業新聞	20.05.02
	実技で学ぶ水稲直播 北上・講習会 生産者ら理解深める	岩手日報	20.05.02
	大豆小畦立て播種 手持ちの機械で 最大3割増収 湿害軽減、低コスト 岩手県農研センターが試験	日本農業新聞	20.06.06
	大豆小畦立て播種技術 多収、高品質に期待 課題の湿害対策容易に	岩手日日	20.06.07
	生物調査の手引きと紹介CD 県農研センター 希望者に無料配布	岩手日日新聞	20.06.20
	飼料米の多収生産学ぶ 生産者が試験圃場視察	岩手日報	20.08.30
	県産大豆 安定生産と品質向上を	岩手日日新聞	20.09.09
	県産大豆生産先進地に学ぶ 奥州で検討会	岩手日報	20.09.11
	稲の巨大ロール出現 紫波町 飼料米の収穫本格化	岩手日報	20.09.18
	ノビエ混入稲WCS 黄化100%で品質OK	日本農業新聞	20.10.29
	水田大豆の湿害回避 代かきローターベースの小畦立て播種機	農機新聞	20.12.02
	水稲直播 岩手で実績検討会 安定生産技術を確認	日本農業新聞	21.02.06
	水稲直播栽培技術セミナー 収量確保へ真剣に 研究成果を報告	岩手日日新聞	21.02.06
	水稲直播で新装置開発 県農業研究センター 「水はけ」の溝を改良 苗立ち率向上 特許出願、商品化へ	岩手日報夕刊	21.02.12
	水稲湛水直播 落水出芽向け 肥料配合を提案 岩手県農業研究センター	日本農業新聞	21.02.20
	水稲直播 種まき溝切り 岩手で同時装置開発	日本農業新聞 (全国版)	21.03.07
	入排水が均一に 作溝同時直播装置 水稲直播技術の普及へ 岩手県農業研究センターが開発	農業共済新聞 (東北営農技術版)	21.03.18
企画管理部			
農業経営研究室			
	集落営農組織 現状、展開方向示す 北上・県農業研究センター 解説書に集約、発行 経営多角化への手引き	岩手日日	20.05.31
	イブキジャコウソウ 栽培マニュアルを提供	岩手日日	20.06.23
	集落営農組織の実情と課題盛る 岩手・資料を冊子で公表	全国農業新聞	20.07.11
	岩手農研センター 集落営農の現状と展開 9割以上が水稲作付 品目横断政策を強く意識する	農機新聞	20.08.12
	「集落営農」骨抜き 経営効率化進まず 7割、補助金の受け皿 岩手県農業研究センターまとめ	日経新聞	20.11.20
研究企画室			
	カイコを飼育しよう 来月、一日子供農業研究員 北上・農研センター参加者募る	岩手日日	20.07.09
	生物の不思議に触れる 児童がカイコ飼育体験 県農研センター	岩手日日	20.08.04
	県農業研究センターで子ども農業研究員体験	岩手日報	20.08.06
	子ども農業研究員です 岩手県農業研究センター 夏休み蚕の飼育体験	日本農業新聞	20.08.02

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
	来月5, 6日に「参観デー」 県農業研究センター成果を紹介展示	岩手日日	20.08.19
	来月5日から参観デー 北上県農研センター	岩手日日	20.08.21
	研究成果肌で感じて 北上県2施設が一般公開	岩手日報	20.09.06
	新技術紹介や展示 参観デー多彩なイベントでにぎわう 県農研センター・北上	岩手日日	20.09.06
	キュウリ生産の一助に 現地ふれあい農業研究セ 陸前高田で	東海新報	20.11.21
農業科学博物館			
	農菊などにふれて 農業科学博物館20日まで無料公開 北上	岩手日日	20.04.18
	穀物を食べる 粒や粉にする用具紹介 農業科学博物館 北上	岩手日日	20.06.19
	北上・農業科学博物館 穀物を食する 粒、粉にした用具展示	岩手日日	20.07.23
	農地の雑草抑制に威力 黒西環境保全組合イブキジャコウソウを仮植	岩手日日	20.06.06
	イブキジャコウソウ栽培マニュアルを提供 水田のり面の雑草抑制 北上・県農業研究センター	岩手日日	20.06.23
	さあ、「お隣」のミュージアムへ! 楽しく学べてためになる 農業科学博物館	マ・シェリ	20.09.11
	布製作の道具紹介 「自給衣料と織物」展 農業科学博物館30日まで	岩手日日	20.11.26
	稲作技術発展の軌跡を紹介 農機具など90点展示 来年2月27日まで 北上・農業科学博物館	岩手日日	20.12.27
	北上・農業科学博物館企画展 稲作技術と農機具の変遷 多収と労力軽減に向け改善	岩手日日	21.01.16
	農業科学博物館 「岩手の稲作技術と農機具の変遷」	マ・シェリ	21.01.29
技術部			
作物研究室			
	北上の県農業研究センター 白インゲンの栽培法確立 県内向け適期など公表	岩手日報	20.08.30
	シロインゲン栽培法を確立 北上・県農業研究センター 5~6月、種まき適期 白あんの原材料地産地消に期待	岩手日日	20.08.30
	北上・県農研センター 納豆用大豆の新品種「すずほのか」 原種育成へ試験栽培 来年度から本格作付け	岩手日日	20.10.11
	10アール800キロ稲安定生産 岩手県農研センター 2品種開発、飼料用に	日本農業新聞	21.03.28
園芸研究室			
	リンゴ、リンドウ 独自品種で産地力強化 岩手県が研究会設立 生産者の育種	日本農業新聞	20.04.25
	連携し新品種開発 園芸育種研が初会合 北上 産地間競争に対応	岩手日日	20.04.25
	県園芸研究会が発足 官民学で品種開発推進	岩手日報	20.04.25
	県農研センター 結実率向上へ技術開発 受粉品種を「ふじ」に高接ぎ 作業効率もアップ	岩手日日	20.05.19
	リンドウ新品種開発 露地栽培で7月上旬出荷可能 価格やコスト面でメリット 県農研センター(北上)	岩手日日	20.07.04
	極々早生リンドウ開発 露地で7月出荷 岩手県農研センター	日本農業新聞	20.07.04
	北上発・新品種のリンドウ 岩手県農業研修センターで開発	広報きたかみ	20.07.04
	受粉用品種高接ぎ りんご結実率ぐんと上昇 効率作業に一役	日本農業新聞	20.07.05
	イチゴの苗 二期取り栽培可能 北上・農研センター新たな種苗法確立	岩手日日	20.10.04

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
	リンゴを楽しむ秋 本県「わい化栽培」主流 完熟の適期収穫に力	岩手日報	20.10.17
	黄色品種のりんごシナノゴールド 収穫適期を一目で判定 カラーチャート活用でばっちり 県農研センターが確立	岩手日日	20.11.07
南部園芸研究室			
	雨よけトマト 収穫調整に新技術 県農研センター(北上)が開発 ピークずらし高値販売へ	岩手日日	20.06.07
	トマト着果調整技術 旧盆の労力軽減 岩手県農研センター開発	日本農業新聞	20.06.19
	スターチス増収技術 固化培地などの有効性実証 県南部園芸研究室	東海新報	20.09.30
環境部			
生産環境研究室			
	化学肥料を7割削減 ピーマンとトマトの施肥法 県農研センターが開発 北上	岩手日日	20.05.29
	河川の農薬残留量低減 水稲いもち病防除 環境に優しい使用への改善 育苗期実施で省力化も 雫石川水系で定期調査 県農業研究センター	岩手日日	20.08.27
	「寒締め」の高栄養価を確認	河北新報	20.11.02
	寒締めハウレンソウ「おいしい」 糖は9倍、ビタミンC4倍 夏取りと比較で実証 北上・県農研センター	岩手日日	20.11.25
病理昆虫研究室			
	小麦の赤かび病 開花期に散布1回 県農業研究センター 今週中の防除呼び掛け	岩手日日	20.05.21
	催芽時処理が効果安定(水稲種子消毒用生物農薬の効果的な使用方法について)	日本農業新聞	21.01.14
	ばか苗病が増加 温湯消毒正しく/東北農政局が研修会(水稲種子消毒用生物農薬の効果的な使用方法について)	(東北版) 日本農業新聞	21.01.29
	種子処理は正しく うっかりは厳禁(水稲種子消毒用生物農薬の効果的な使用方法について)	日本農業新聞	21.02.25
病虫害防除部			
病虫害防除課			
	カメムシ被害農家悲鳴	朝日新聞	20.04.01
畜産研究所			
家畜育種研究室			
	おから使い飼料費3割削減	河北新報	20.07.05
	乳牛母胎で和牛増産 受精卵移植器を活用 県の取組スタート	岩手日報	20.07.11
	地鶏の飼料費削3割削減 食品残さ活用 そばくず、おから材料に 岩手県農研センター	日本農業新聞	20.07.12
	養豚にそばくず、おから活用 安い飼料で肉質向上 霜降り増、軟らかく コスト5割減 県農研センターが成果	岩手日報	20.07.19
	右牛用受精卵移植器「モ3号」受胎率向上へ前進 繰り返し使用が可能 技術料の経費を節減 岩手県畜産研究所	農業共済新聞	20.08.13
	プレミアム短角牛出荷 本県産粗飼料70%給餌 2月から 畜産振興に弾み	岩手日報	20.12.18
	来待招福 歴代1位の霜降り 肉質特化の能力が魅力	日本農業新聞	21.01.01
	“顔見える”粗飼料多給 短角牛 本格出荷へ 肉質、うま味変わらず	日本農業新聞	21.02.02
家畜飼養・飼料研究室			
	耕さず栽培、作業短縮 飼料用トウモロコシ 八幡平市で実演会	岩手日報	20.05.10

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
	畜産コスト軽減に効果 破砕トウモロコシ活用を 輸入飼料代用に 乳量や成分は不変 県農研センター乳牛で試験	岩手日報	20.09.25
	コーンサイレージ 破砕で多給可能に 乳質変えず配合飼料減	日本農業新聞	20.10.08
	飼料作物 収穫なめらかに	岩手日報	20.10.29
	自給飼料増や低コスト生産学ぶ 一戸で農業研修会	岩手日報	21.02.05
県北農業研究所			
作物研究室			
	もち性ヒエ3品種 適性調査で栽培試験 花巻市農振対策本部、県加工品への応用に期待	岩手日日	20.06.25
	目指せ雑穀効率生産 除草作業を機械化 農家に説明	岩手日報	20.06.26
	岩手県農業研究センター県北農業研究所作物研究室が実証 畑雑穀 発酵鶏ふんでも収量確保 無化学肥料で差別化へ 技術研修会など計画	農業共済新聞	20.09.17
	期待のヒエ 3品種開発 県農研センター県北農業研究所 優れた食味 粘りも 栽培も省力化 農水省への登録準備	岩手日報	20.09.25
	世界初のヒエ完成 粘り気強く低い草丈	デーリー東北	20.09.25
	半もち性ヒエ登場 食味良好、草丈低く栽培が楽 地域に合わせ3品種 新たな需要拡大を期待 岩手県農業研究センター	日本農業新聞	20.09.25
園芸研究室			
	ハウレンソウ栽培 ビニール被覆で軽減 北上・県農業研究センター 害虫対策で農家に周知	岩手日日	20.05.03
	ハウレンソウ畑ビニール被覆 地温あげ害虫退治 長期間ほど効果 3作目までOK 岩手農研センター	日本農業新聞	20.05.08
	レタスの腐敗性病害 耕種的対策で被害軽減 北上・県農研センター 安定生産に期待確認	岩手日日	20.06.10
	レタス腐敗性病害 株間広げて軽減 収量確保し安定生産 岩手県農研センター 排水対策と併用	日本農業新聞	20.06.28

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
プロジェクト推進室	高橋昭喜 実証農家	新装置を公開 大豆栽培の現地試験	IBC	20.06.05
技術部 企画管理部	及川 あや 鈴木 元	ニュースプラス1 ・棚田でお絵かき（田んぼアート）	テレビ岩手	20.08.20
技術部	伊藤 信二	岩手県で白インゲンの栽培法を初めて確立！	北上ケーブルテレビ	20.08.29
プロジェクト推進室	実証農家	もち米WCS収穫	テレビ岩手	20.09.17
企画管理部	阿部 弘	じゃじゃじゃTV ～街角ミュージアム ・農業科学博物館の紹介 ・「棚田でお絵かき（田んぼアート）」 ・新形質米新品種「岩手紫76号」のおにぎり	IBC	20.10.04
企画管理部 (農業科学博物館)	畠山 良勝	じゃじゃじゃTV ～たつと岩手 ・「田んぼの上のホニョ」	IBC	20.10.18
企画管理部	阿部 弘	土曜スペシャル 「冬の日本列島 絶品!!旬の味めぐりの旅」 ※取材対応と写真提供	テレビ東京	20.12.20
企画管理部 " 技術部 中央農業改良普及センター "	照井 博幸 阿部 弘 山口 貴之 小舘 琢磨 山口 恵子	週刊 ことばマガジン ・北上市の方言「いものこ」 (農研センター会議室で「イモ」座談会)	岩手朝日放送 ※東北、新潟7県ネット	21.02.28

(注) イベント開催のニュース等は対象外

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
県北農業研究所	仲條真介	品種改良したヒエについて	カシオペアFM	H20.12.23

(注) イベント開催のニュース等は対象外

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月	
プロジェクト推進室	及川 一也 高橋 昭喜 渡邊 麻由子	大豆の小畦立て播種栽培技術マニュアル 2章、3章、4章、7章、8章	大豆の小畦立て播種栽培技術マニュアル	20.05	
	日影 勝幸	岩手県水稲直播栽培指針 1章(1)3)、2章(1)、3章、6章(1)(5)	岩手県水稲直播栽培指針（岩手県）	21.03	
	及川 一也	大豆栽培の実際	岩手大豆300A研修会	21.02	
企画管理部 農業経営	前山 薫	生産技術体系	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03	
	前山 薫	生産技術体系	平成21年度花き栽培技術指針	21.03	
	昆野 善孝	直播栽培の経営評価	岩手県水稲直播栽培指針	21.03	
技術部	作物	林尻 雄大	水田雑草防除及び水稲用成長調整剤使用指針	平成21年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針（岩手県）	21.03
		小綿 寿志 伊藤 信二	畑作物雑草防除指針	平成21年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針（岩手県）	21.03
	園芸	小野 浩司 畠山 隆幸	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	平成21年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針（岩手県）	21.03
		漆原 昌二	野菜雑草防除及び野菜用成長調整剤使用指針	平成21年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針（岩手県）	21.03
		千葉 賢一	花き雑草防除及び花き用成長調整剤使用指針	平成21年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針（岩手県）	21.03
	南部園芸	高橋 拓也	品目別栽培技術指針 トマト	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03
		山口 貴之	品目別栽培技術指針 きゅうり	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03
		藤尾 拓也	品目別栽培技術指針 いちご	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03
		藤尾 拓也	夏秋いちごの栽培技術	県北・沿岸農業生産モデル拡大・普及マニュアル 夏秋いちご	21.01
環境部	生産環境	鈴木 良則	野菜畑の土づくり 野菜栽培における施肥管理 転換畑等における排水対策	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03
		宍戸 貴洋	分析・診断技術 野菜の鮮度保持	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03
	病理昆虫	岩館 康哉 羽田 厚	近年問題となっている病害虫	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
	鈴木 敏男 羽田 厚 猫塚 修一 横田 啓 佐々木 直子 岩館 康哉	病虫害・土壌病虫害・鳥獣害防除、展着剤	平成21年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	21.03
病虫害防除部	佐藤 美和子	農薬安全使用指針	平成21年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	21.03
病虫害防除課		農薬の残留と飛散防止対策	平成21年度野菜栽培技術指針	21.03

9 図書資料収集・提供

項 目	冊数・人数
総蔵書数	67,367 冊
平成20年度収集図書数	545 冊
図書室利用者数(延べ)	238 名
同貸し出し冊数	616 冊

数値はいずれもセンター本部のみ

10 ホームページ

項 目		件 数	内 訳
入力件数	研究レポート	148	平成20~21年度発行分
	試験研究成果	102	平成20年度試験研究成果書
	研究報告類	79	旧農業試験場・園芸試験場研究報告
	らぼ・れたあ	65	No.1~58(研究トピックス)
	行事予定	11	参観デー、現地ふれあい農研センター、他
	各種資料	43	外部評価結果、平成19年度年報
	農業科学博物館	21	企画展第37回~第40回、棚田日記、他
	その他	23	一日子供農業研究員、英語版サイト、月別アクセス状況、組織紹介、他
アクセス件数	トップページ	55,560	平成20年度分
	総ページビュー	2,309,962	平成20年度分